

鶏肉情勢

平成30年4月3日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
供給	<p>1. 国内</p> <p>(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会3月中旬実施)によると、2月の推計実績は、処理羽数54,405千羽(前年比103.4%)・処理重量162.7ト(同104.7%)と、昨年鳥インフルエンザ(HPAI)発生の影響で処理羽数・重量が減少したことに等しく、ともに前年を大きく上回った。中部地区および近畿・中国・四国地区で処理重量(前年比99.0%・99.4%)が前年並みだったものの、北海道・東北地区(同105.3%)および南九州地区(同106.6%)が大きく上回ったことや、種鶏の改良や飼養技術の向上で廃棄割合が減少(前年差△0.84%)したこと等が要因と思われる。</p> <p>(2) 3-5月計画で、3月の処理羽数(前年比101.7%)および処理重量(同100.7%)はともに前年並み。4月は、HPAI発生で処理場1か所が1か月近く休止したため処理羽数(同104.3%)・処理重量(同103.1%)ともに前年を上回ると計画されているが、一昨年対比では処理羽数101.4%、処理重量100.7%の見通し。5月については処理重量(同100.6%)で前年並みと計画されているが、増加傾向で推移するとみられ、このまま荷動きが低調の場合は在庫積み増も考えられ、需給の緩みに拍車がかかることが懸念される。</p>
	<p>2. 輸入</p> <p>(1) 財務省3月29日発表の貿易統計によると2月の鶏肉(原料肉)輸入量は46.7千トで、日本食肉輸出入協会の直前の予測(51.9千ト)を下回った。国内在庫の増加および荷動き不振で調整の動きと推測される。国別輸入量では、ブラジルが34.8千ト(前年比96.1%)、タイが16.1千ト(同124.1%)となっている。同協会は輸入動向検討委員会(3月19日開催)で「3月現在、鶏肉全体の消費が引き続き順調な中で、鶏肉輸入量はブラジル産を中心に依然として高水準で推移しており、昨年12月に一旦減少し1月に再び増加に転じた在庫がさらに増加すると見込まれる。荷動きが重い状態は解消に向かっている」とみられるが、ブラジルにおける食肉不正事案の発覚もあり、価格の動向は不透明感を増している。」とコメントしている。</p> <p>(2) 鶏肉調整品の2月輸入量は37.0千ト(前年比134.9%)と、例年2月は年度末に向け減少傾向にあるものの、サラダチキン・唐揚げ・ヤキトリ等が量販店・コンビニ・外食等での需要が拡大しており伸び率が高くなっている。今後このハイレベル輸入が継続した場合、国内製造との競合に注視する必要があると思われる。</p>
需要	<p>1. 家計消費</p> <p>(1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、1月の全国一世帯当たりの生鮮肉消費(購入)金額は前年比102.5%の6,198円となった。うち鶏肉については、購入数量は同101.7%の1,382gで昨年10月以来前年を上回り、購入金額も同104.8%の1,389円と前年3月以降11か月連続で前年を上回った。健康志向・低価格志向等からの底堅い鶏肉需要や、全国的に気温の低下で鍋物需要が増加したこと等も一因と考えられる。</p>
	<p>2. 量販・卸</p> <p>(1) 日本チェーンストア協会によると2月の食料品販売額は前年比102.2%、畜産品も同102.6%と前年を上回った。青果類(白菜・ねぎ等)は前月同様に日照不足や豪雪等の影響で高値で推移したため、同105.4%と大きく伸びた。国産銘柄豚肉訴求により好調とする店舗が多いなか、輸入豚に切り替えたことにより販売額を低下させた店舗も見受けられた。鶏肉については、気温低下による鍋物需要等から好調に推移したと報告されているが、今後は大きく相場を下げた国産豚肉や輸入チルドボークとの競合もあり得る。</p> <p>3. 業務・加工筋</p> <p>(1) 日本ハム・ソーセイジ工業協同組合調べ鶏肉の加工品仕向肉量は、サラダチキンや唐揚げの需要拡大等による国内製造拡大を背景に、1月度は前年比105.7%の3.97千ト、うち国内物は同97.5%の3.29千トと下回ったものの輸入物が同176.0%の0.69千トと大幅に増加した。タイ産むね肉の現物価格が210~230円/kgとも言われており、今後輸入物の比率が上がることも考えられる。</p>
在庫	<p>1. 30年1月</p> <p>(1) 国内生産量は前月より18.9千ト減少したものの輸入品の輸入量が1.8千ト増加、推定出回り量が前月より国産20.7千ト、輸入品18.3千トそれぞれ減少したことにより、在庫は国産28.2千ト(前年比123.5%)、輸入品150.7千ト(同131.8%)合計178.9千ト(同130.4%)と昨年11月並みの高い水準となった。</p>
	<p>2. 見通し</p> <p>(1) 2月の国産在庫について、出回り量は前年比で増加すると見込んでいるものの、生産・供給量がそれ以上に増加すると予測されているため小幅な増加になると考えられる。3月についても出回り量および生産・供給量とも前年をやや増加すると予測されているため2月同様在庫は増える傾向にあると思われる。</p> <p>(2) 2月の輸入品在庫はブラジル等から輸入数量が大幅に増加する見込みのため、在庫も増加すると考えられる。3月についても2月同様輸入数量の増加が予測されているため、さらに高い水準になると考えられる。</p>
相場	<p>1. 3月動向</p> <p>(1) 3月の平均相場は、もも肉637円/kg(前月比26円下げ)・むね肉305円/kg(同1円上げ)で、正肉合計で942円/kgと前月比25円下げ、前年比で45円の下げとなった。もも肉は暖かくなり鍋物需要の低下に伴い、月初め654円からはば月を通してぐり安となった。むね肉は、輸入鶏肉価格の軟調に引きずられ下げ基調で、一時300円を割り込んだ日もあったが、依然として旺盛な需要に支えられ高い水準が継続している。</p>
	<p>2. 4月見通</p> <p>(1) 4月は全国的に気温が平均より高いと見込まれており、もも肉は鍋物需要から行楽シーズン向けの唐揚げ需要等に移行するものの、若干の下げで月平均で610円と予測する。また、むね肉は保合い圏内で300円と予測する。</p>

実績											
生産状況											
単位:千羽、千トン、%											
	H30年2月推計実績		H30年累計		H30年3月計画		H30年4月計画		H30年5月計画		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
入雛羽数	56,904	101.2%	118,753	102.1%	62,032	102.3%	58,831	98.9%	60,459	103.0%	
処理羽数	54,405	103.4%	111,208	103.3%	60,533	101.7%	57,786	104.3%	58,868	102.4%	
処理重量	162.7	104.7%	333.8	104.6%	178.9	100.7%	171.7	103.1%	175.6	100.6%	
※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」											
輸入動向											
単位:千トン、%											
品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
H29年11月	57.1	51.7	110.3	46.5	41.0	113.7	103.6	92.7	111.8	55.1	44.9
H29年12月	46.5	33.0	140.7	48.2	39.9	120.7	94.6	72.9	129.8	49.1	50.9
H30年1月	48.3	31.7	152.2	41.8	36.7	113.9	90.1	68.5	131.6	53.6	46.4
H30年2月	46.7	45.8	102.0	37.0	27.5	134.9	83.7	73.2	114.3	55.8	44.2
H29年合計	569.5	551.2	103.3	486.8	422.0	115.4	1,056.3	973.2	108.5	53.9	46.1
※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞											
消費動向(2人以上の世帯)											
単位:グラム、円、%											
履歴	数量			金額			相場(年別・暦年)				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		もも肉	むね肉	計	
H29年11月	1,443	1,493	96.7	1,387	1,352	102.6		H24年	563	189	752
H29年12月	1,640	1,641	99.9	1,728	1,646	105.0		H25年	583	246	829
H30年1月	1,382	1,359	101.7	1,389	1,325	104.8		H26年	626	294	920
H29年平均	1,359	1,353	100.4	1,318	1,274	103.5		H27年	639	336	975
※参考資料:総務省統計局HP											
在庫状況											
単位:千トン、%											
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
H29年10月	26.8	25.9	103.6	144.5	139.1	103.9	171.3	165.0	103.8		
H29年11月	27.3	24.6	111.2	150.9	137.2	110.0	178.2	161.8	110.2		
H29年12月	26.8	24.2	110.7	140.7	121.8	115.5	167.6	146.1	114.7		
H30年1月	28.2	22.8	123.5	150.7	114.4	131.8	178.9	137.2	130.4		
※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構											
相場(月別)											
単位:円、%											
品名	もも肉			むね肉			正肉合計				
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
H29年12月	644	669	96.3	318	258	123.3	962	927	103.8		
H30年1月	673	681	98.8	312	253	123.3	985	934	105.5		
H30年2月	663	685	96.8	304	284	107.0	967	969	99.8		
H30年3月	637	674	94.5	305	313	97.4	942	987	95.4		
H30年4月	(610)	658	92.7	(300)	325	92.3	(910)	983	92.6	※()は見通し	
H30年5月	(600)	645	93.0	(300)	337	89.0	(900)	982	91.6		
H30年平均	658	680	96.8	307	283	108.5	965	963	100.2	※1-3月平均	